



受賞作品

第166回芥川龍之介賞

『ブラックボックス』

砂川 文次 // 著 (F スナ)

ずっと遠くに行きたかった。今も行きたいと思っている。自分の中の怒りの暴発を、なぜ止められないのだろう。自転車のメッセンジャー、サクマは都内を今日もひた走る。

第166回直木三十五賞

『塞王の楯』

今村 翔吾 // 著 (F イマ)

決して破られない石垣を造ろうとする石工の匡介。しかし、そこに立ちふさがるのは、どんな守りも打ち破るといふ彦九郎の砲。大津城を舞台に、信念をかけた職人の対決が幕を開ける。

『黒牢城』

米澤 穂信 // 著 (F ヨネ)

織田信長に叛旗を翻して有岡城に立て籠もった荒木村重は難事件に翻弄される。村重は、土牢の囚人にして織田方の軍師・黒田官兵衛に謎を解くよう求めた。事件の裏には何が潜むのか。

第24回大藪春彦賞

『阿修羅草子』

武内 涼 // 著 (F タケ)

大乱前夜の京。奪われた秘宝を追う少女忍者すがすが、権力者たちの非道を討つ! 野望の陰で命を散らす忍者たちの悲哀を描く、歴史エンターテインメント。

『トリカゴ』

辻堂 ゆめ // 著 (F ツジ)

殺人未遂事件の容疑者は無戸籍だった。蒲田署の刑事・森垣里穂子は、捜査によって彼らが隠れ住むコミュニティを壊してしまうのではと苦悩する。だが、かつて日本中を震撼させた“鳥籠事件”との共通点に気づき…。

第37回坪田譲治文学賞

『旅する練習』

乗代 雄介 // 著 (F ノリ)

中学入学を前にしたサッカー少女と、小説家の叔父。ふたりは、コロナ禍で予定がなくなった2020年の春休み、利根川沿いに徒歩で千葉の我孫子から鹿島アントラーズの本拠地を目指す旅に出る…。

ドラマ化作品

正体

出演: 亀梨和也, 黒木瞳 ほか

『正体』

染井 為人 // 著 (F ソメ)

それは懺悔なのか、復讐なのか。脱獄、逃亡、潜伏。少年死刑囚の生きる意味とは。埼玉一家惨殺事件の少年死刑囚の脱獄488日を追い、社会の歪みに隠された真実に挑む。

